

令和 4 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 5 年 2 月 1 3 日

江別市立中央中学校

1 本年度の重点目標

「心豊かで確かな学びと気づき」を積み上げる生徒たちと教職員
～気づき・考え・工夫する～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点 I 新たな時代の信頼を積み上げる学校づくりの推進	1 学校経営 全教職員の協働体制による機能的・組織的なマネジメントによる学校運営の充実	A	日常の感染対策や学級閉鎖措置に緊張感が続いたが、各分掌、学年主任を中心に組織的に対処できた。	A	A
	2 教育課程 新たな学習指導要領に基づく適切な編成と開かれたマネジメント管理	A	新たな学習指導要領による教育課程の運用も軌道に乗ったものと捉えている。本年度の成果と課題を踏まえ、総合的な学習の時間や、キャリア教育等、系統的な計画と実践検証を進める。 小中一貫教育については、次年度の本格実施に向け、大きく前進した年となった。本年度の成果を踏まえ、一層の発展をめざす。	A	A
	3 学年・学級経営 学校経営に基づく、開かれた組織的な学年・学級経営の実践	A	初任段階教員など経験年数の少ない教員もおり、学年主任を中心として、引き続き、互いに声を掛け合い、風通しのよい職員集団を構築する。	A	A
	4 家庭・地域との連携 開かれた学校づくり学校と地域・家庭との連携を深める教育活動の充実	A	PTA による有償のメールサービスや新たなホームページの運用も定着し、コロナ禍にあっても、可能な限り情報の発信に努めることができた。	A	A
	○学校評価 信頼される学校づくりと教職員の資質向上を図る評価の充実	A	新たなメール配信サービスを活用した保護者アンケートにより回答数が大幅に増加した。生徒アンケートは経年変化を調査しており、授業改善や指導に生かすよう進めており、成果の見られる項目も確認でき始めている。	A	A
	5 専門職としての教職員の在り方 資質・能力と人間性、同僚性を高め、説明責任を果たすことのできる教職員	A	初任段階など若い職員も多いことから、引き続き、同僚性を高め、切磋琢磨する教職員集団を目指す。	A	A
	○危機管理 生徒・教職員の生命・安全と学校資産を守る危機管理の充実	A	校内での事故防止に向け、毎月の安全点検を実施するとともに、生徒の所在確認の徹	A	A

			底や洗剤や危険物の管理等、危機管理意識を形骸化することのないよう、引き続き、確認・徹底する。		
	○管財・経理 学校備品・経理事務等の適正管理と執行の工夫	A	備品・経理事務は適正に執行できており、次年度も継続する。	A	A
教育課程・学習指導	6. 学習指導 確かな学力を定着させる主体的・対話的で深い学びの教科指導実践と評価の積上げ	B	令和4年度全国学力・学習状況調査によると、国語・理科については全国と同様の結果であるものの、数学については全国に対して低い結果となった。全学年で実施した標準学力検査においても、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が引き続き課題となっている。 教科ごとに具体的な数値目標も含め設定した学校改善プランを作成して、学力向上に取り組んでいる。 令和5年度発表の石狩管内教育研究会・江別市教育研究会指定の学校課題研究発表会に向け、日常の授業改善に取り組んでいるところであり、生徒アンケートからも成果が見られ始めている。	A	A
II 自ら学び考える力を育む学習活動の推進	7. 総合的な学習の時間 学ぶ意欲を引き出し、生きる力を育む体験的学習の充実	A	総合的な学習の時間については、コロナ禍で若干の軌道修正はあったものの、キャリア教育やSDGsなど、計画的に学習を進めることができた。より系統的でスパイラルな学びが構築できるよう新年度準備に取り組む。	A	A
生徒指導	8 道徳教育 心に響き、思いやりと豊かな心を育む道徳指導の充実	A	特別の教科道徳における教科書を活用した指導は定着している。今後は、情報モラル指導や人権擁護委員などの外部講師を活用した指導も含め、より効果的・系統的な学びとなるよう指導計画の編成と実施に努める。	A	A
III 豊かな人間性と社会性を育む道徳教育	9 生徒指導 時間や身なり服装、挨拶礼儀を基本とした心育む生徒指導の充実 (いじめ・不登校対応含む)	A	不登校生徒や登校しぶりの生徒数は高止まっている状況にあるものの、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、適応指導教室、医療機関など、関係機関と連携を密にしながら対応に努めている。令和5年度からは「登校支援室」を校内に設置して、週1回から運用を始める予定である。 いじめ対応は、アンケート調査も利用するなど、いじめの積極的認知に向けた職員研修や資料提供に努めたこと	A	A

や 体 験 活 動 の 充 実			で、認知数が大きく増加するとともに、いじめ撲滅に対する職員の意識が高まっており成果が見られた。		
	10 教育環境の整備と管理 落ち着きや豊かな感性を育む、安心安全な教育環境の充実	A	開校 30 周年を迎え、老朽化により修繕が必要な箇所も多い。本年度は前庭の樹木剪定や土手の整備、玄関の修繕などを実施していただいた。引き続き、安心安全で、古くても美しい教育環境の整備に努める。	A	A
	○ 読書活動の推進 豊かな心を育む読書活動の充実	A	年間を通じて、朝読書を実施してきた。一日の始まりを静寂な朝読書から始まるのが大切であり、次年度も継続する。	A	A
IV た く ま し く 健 や か な 体 を 育 み 主 体 的 に 安 心 安 全 を 守 る 教 育 活 動 の 推 進	11 学校部活動 夢や目標を持ち、切磋琢磨し、努力する態度を育む部活動の充実	A	平日週 1 回、土日に 1 回の休養日や練習時間など、部活動の在り方の方針を踏まえた活動も定着してきた。今後、外部指導者の導入や地域移行の動きなど変化が予想されるが、学校として適切に対応するとともに、生徒・保護者に対して必要な情報提供に努める。	A	A
	12 健康体力・安全指導 生命を守り、心身を鍛える主体的な態度を育む健康体力と安全指導の充実	A	感染症対策の影響により全国的に体力の低下が確認されているが、本校の新体力テスト結果は感染症がまん延する以前の結果に近づいている。 日常の保健体育の授業での補充運動や部活動等により、生徒の体力向上に引き続き取り組む。	A	A
	○ 食育 望ましい食習慣を身に付け、自ら健康管理できる食育指導の充実	A	栄養教諭や江別市と連携した食育指導や、江別の逸品コンテストへの参加など、食育事業に積極的に取り組むことができおり、次年度も継続する。	A	A
V グ ロ ー バ ル で 心 広	13 特別支援教育・教育支援 個々個別の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を図る教育や対応の充実	A	普通学級における特別な支援を必要とする生徒が増加している。今後も人的な状況は大きく変化しない見込みであるが、引き続き、TT 指導や習熟度別少人数指導、学習ボランティアを活用した放課後学習など、可能な範囲で、個に応じた学習支援に努	A	A

い 視野 を 育 む 教 育 活 動 の 推 進			める。		
	14 特別活動 自主的実践的態度や社会性を育む集団 活動の充実	A	感染対策を講じながら、学校 行事についてはおおむね実 施できた。文化祭は延期とし たが、市民会館を借用して、 全校生徒、保護者、地域 の方々が一堂に会して実施す ることができた。	A	A
VI 未 来 を 見 据 え て 自 ら 課 題 解 決 に 適 切 に 対 処 す る 活 動 の 充 実	15 進路指導 自ら自己実現を図ることのできる進路 指導と支援の充実	A	進路だよりの1, 2年生に対 する発行のほか、HPにも掲 載し、昨年度の課題を改善で きた。本年度より公立高校の 推薦制度が変更されたが、大 きな混乱なく対応すること ができた。	A	A
	16 情報教育とICT活用の充実 正しく効果的な情報活用能力を育む情 報やICTを活用した教育の工夫	A	大型提示装置（電子黒板）や 学習者用コンピュータ、デジ タル教科書など、ICTを有効 に活用しながら主体的・対話 的で深い学びや個別最適化 された学びの実現に向け、校 内研究の柱のひとつとして 取組を進めることができた。 先進校の視察や校外での研 修にも参加するなど、ICTを 活用した授業改善に対する 気運が高まっている。	A	A
	17 防災・減災教育 災害などを理解し、自ら安全を確保し 行動する防災教育	A	避難訓練を予定通り2度実 施することができた。2回目 については、生徒に予告な く、実施したが、混乱なく訓 練を終えることができた。 1学年では、総合的な学習の 時間において、厚真町におい て震災学習に取り組み、次 年度も継続する予定で計画を している。	A	A
VII 教 員 の 指 導 力 と 職 能	18 研修活動 新しい課題に対応した指導実践実際に 結びつく研修活動の充実	B	来年度発表となる石狩管 内・江別市指定の研究発表会 に向け、日常の授業改善を中 心課題とした研修活動に取 り組んできた。主体的な学び や、対話的な学びについて、 生徒アンケートに変容が見 られるなどの成果が現れ始 めており、引き続き、組織 的・計画的に取組を進める。 10月27日(金)の研究発表会	A	A
	19 校内研修 生徒たちの確かな学びと気づきのため に学び続ける教職員研修	B		A	A

専門性の向上を図る研修活動の充実			には、学校運営委員の皆さまにもご出席をお願いしたい。		
VIII 今日的な課題や子どもたちの未来を見据えた課題への対応	20 小中連携とCS 系統性と連続性のあるCSと連動した校区小中一貫教育の導入準備	A	令和5年度からの小中一貫教育の本格実施に向け、昨年度末に設定した中学校区での「めざす子ども像」の実現に向け、管理職・主幹教諭による会議、各分掌リーダーによる部会研究、3校すべての教職員が一堂に会しての研修会、6年生の登校体験、中学校教員による乗り入れ授業、教科交流（数学・英語）、英検・漢検の合同実施、生徒指導交流など、計画的に取り組を進めることができた。保護者アンケートでは、小中一貫教育の取組について意見をもらうことができた。	A	A
	21 働き方改革 管理職と教職員の理解と工夫、協働による働き方改革の推進	B	学校としてできる「働き方改革」についてはこの2年間で大きく前進しており、時間外の勤務時間も縮減傾向となっているが、大きな改善とは言えない状況にある。今後も教育の質の向上をめざし、ICTの一層の活用や業務分担の見直しなど改善を図る。	A	B
	22 コロナ禍の学校運営の工夫 新型コロナウイルス感染症に対策と対応した学校運営の工夫	A	感染症対応については、国や道、江別市からの通知に基づき、適切に対処することができた。本年度は学級閉鎖が多く、3学年については授業時数の回復のため、冬季休業中に登校日を設定した。	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・教職員の皆様に、色々な面でご尽力を頂いている事に敬意を申し上げます。
- ・コロナ禍において感染が急に拡大したりする中で、子ども達が安心して学校生活を送れるように努力されていると思います。
- ・目標の生徒像に向かうようと、教職員一同取り組んでくださりありがとうございます。
- ・コロナ禍での学校運営、大変ご苦労されていると思います。ありがとうございます。
- ・本来、中学生における学習は、家庭学習も頼るのではなく、授業で完結させるとの教師の姿勢を期待したい。その上で、生徒が自主、自律的に学習することを求めたい。特に、好成績を残す部活動の指導者に学習に臨む姿勢についても配慮して指導してほしい。さらなる心技体、文武両道に期待したい。
- ・外部からだ判断しにくい項目が多々ありますが、生徒たちが近い将来、あるいは永続的に必要かつ重要な取組ばかりですので、しっかりと改善の方策を活かして達成できるよう頑張ってください。
- ・評価項目がわかりにくいいため、評価項目についての説明があると良いです。
- ・達成状況についても、このコロナ禍等の厳しい状況の中では、素晴らしい成果かと思えます。ただでさえ難しい年頃の子供達、色々な個人差のある中での、これらの取組は、学校、生徒、PTA、そして地域にとっても、とても良い事と考えます。これからも皆様のご健勝をお祈りしながら微力ではございますが、何かの力になればと思います。
- ・働き方改革に振り回される部分もあるかと思えますが、教職員の皆さんが働きやすい環境とはどのような状態なのかをディスカッションしながら改善していただけたらと思います。
- ・生徒アンケートにより生徒側の考えもくみ取ってもらっていて良い方向だと感じます。
- ・小中一貫教育は見えないだけに悩むことの多い子ども達や保護者にとってとてもありがたいことで、変革は大変なことですが、今後もよりよい中学校であることを期待しています。